

1. 基礎情報

自治体名	栃木県鹿沼市
担当部署名	協働のまちづくり課
電話番号	0289-63-2241
ホームページ	https://www.city.kanuma.tochigi.jp



日本語教室

在留外国人数	令和7年4月現在	1,903	人	住民基本台帳人口に占める割合	2.1	%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ベトナム)	892	人	2位 (インドネシア)	179	人
				3位 (中国)	160	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	意識啓発と社会参画支援	
小分類	多文化共生の意識啓発・醸成	
取組のポイント	かぬま多文化共生プランの策定	
具体的な取組内容	・2011年2月に策定、同年4月からスタート。第1期計画(2011～2016年)、第2期計画(2017～2021年)、第3期計画(2022年～2026年) ・策定にあたっては市民、企業、関係団体等と行政が協働して策定委員会を開催し、内容の調整等を実施。策定後は策定委員会を中心にプラン推進委員会を立ち上げ、多文化共生講座の開催やプランの進捗管理等を実施。 ・多文化共生講座は毎年、推進委員会を中心に手作りの講座を実施。外国籍市民や関係団体、一般市民などを対象に、講義やグループワーク等を通して交流し、多文化共生に関する理解を深めるとともに「多文化共生の地域づくり」を推進する。 ・第3期プランでは、「やさしい日本語」の普及啓発の他、6項目を重点事業としている。「やさしい日本語」の普及啓発については、特集記事の広報掲載、市職員向け研修開催等の取組を行う。	
大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	多文化共生コミュニティセンター「コミニエテ」の運営	
具体的な取組内容	・外国籍市民も日本人市民も誰もが気軽に相談したり、話をしたりできるような多文化共生の地域づくりの拠点施設として、市国際交流協会が中心となり運営。 ・令和2年度からは外国人受入環境整備交付金(法務省)を活用し、一元的相談窓口として、相談員の増員及び翻訳機の導入による対応言語の増加など、体制を強化。 ・日常の生活情報の提供のために、毎月発行の市広報誌より必要記事を抽出して多言語(英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語)に翻訳した多言語版広報誌を毎月作成し、市内在住の外国籍市民に発送。合わせて市HPでも周知。 ・日本語教室を、市国際交流協会が各ボランティア団体と連携して実施し、日本語を教えるだけでなく、ごみの出し方や各種制度など日本社会での生活ルールを学ぶ場としても重視している。また、日本語教室ボランティア養成講座を毎年実施。	